

**愛護センターだより**

**発行: 敦賀市少年愛護センター**

**住所: 敦賀市東洋町1番1号**

**電話: 0770-23-0189 Fax: 0770-23-0523**

『青少年健全育成都市宣言』 都市: 敦賀市

## SNS…

アメリカ フロリダ州では、「14歳未満の子どものSNSアカウント保有を禁止する」「わいせつサイト利用者の年齢確認を義務化」という法案が成立し、今年1月1日施行されました。14歳・15歳では、保護者の同意があればアカウントを持つことができるそうですが、この法律の施行により、保護者の同意なしにアカウントを持つと法律違反。こうしたSNS規制法は、カリフォルニア州などでは既に制定されているようですから、アメリカでは子どものSNSがかなり大きな問題になっているということでしょう。



ただ、オハイオ州では、連邦裁判所が、「ネット上の情報へのアクセスは言論の自由を定めた合衆国憲法に違反する懸念がある」と、一時的な差し止めを命じてもいるようです。

また、ニューヨーク市はティックトック・ユーチューブ等の大手SNS各社を相手取り「SNSが原因で、うつや自殺願望といった若者の心の健康問題・精神衛生危機が生じている」と、損害賠償を求める訴えを起こしています。SNSに関連する子ども達の健康問題への対応に、市や学区、公立病院に年間1億ドル（約150億円）の負担が生じたというのです。訴えを起こす家族や州、自治体が増え続けている状態。

さらに、去年の11月28日にはオーストラリアで「SNSは暴力や自殺、いじめなど子どもたちに実害がある」として「16歳未満によるSNSの利用を禁じる新法」が可決されました。保護者の同意があっても利用は認められないそうです。この法律により、対策を講じなかった運営企業に最大4950万豪ドル（約50億円）の罰金が科されることとなります。オーストラリア国内では禁止を支持する声が強く、公共放送ABCなどの8月の世論調査で「政府が青少年のSNS利用を禁止すべき」と答えた人は61%にも上ったそうです。

日本では、香川県が「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」として2020年4月1日に施行され話題になりました。18歳未満の子ども達のインターネットとコンピュータゲームの利用時間制限を推進する条例で、「ゲームの利用時間を1日60分、休日は90分まで」「スマートフォンは中学生以下が21時まで、それ以外は22時まで」が目安（学習目的での利用は例外）で、条例に違反しても罰則などの規定はありません。投資詐欺の「著名人なりすまし広告」で、メタ社を提訴している動きがあるぐらいでしょうか。子ども達への悪影響という観点での動きはありません。



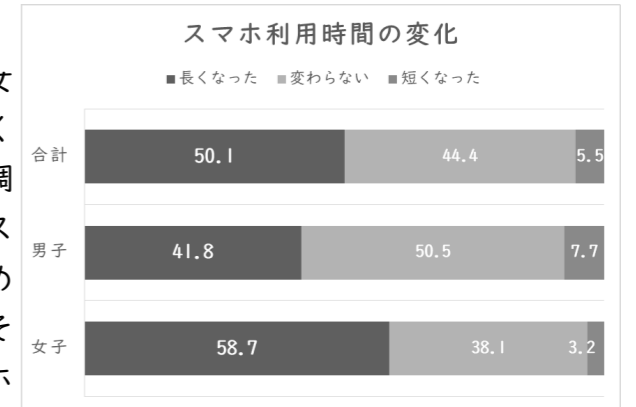
ただ、SNSを巡るトラブルがあるのは日本も同じ。子ども達は、今後もSNSを利用しつつ社会生活を送っていくこととなります。SNSの悪影響を受けずに健やかに成長していくためには、モバイル機器を買い与える家族の力が必要です。

## スマホの時間が…

NTTドコモの研究機関（モバイル社会研究所）が令和6年8月15日に全国の15～79歳の男女5719人を対象とした調査結果を発表しました。それによると「ここ1～2年でのスマホ利用時間が『長くなった』25%、『短くなった』5%」というもの。長くなった人もいれば、短くなる人もいるのは当然と思うものの、わずか1～2年でスマホ利用時間が長くなったと感じている人が4人に1人いるというのは驚きです。

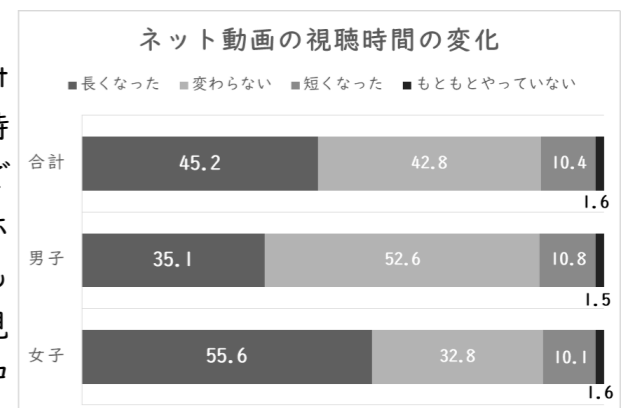


さらに、10代…15歳から19歳（男子194人女子189人 計383人）に限って見てみると、「長くなった」は男子で41.8%、女子で58.7%と、調査全体よりもかなり高い割合です。10代にはスマホを使い始めた…という人も含まれるため「長くなった」が多いのかも知れませんが、それにしても…という感じです。全体的にスマホ利用時間が長くなる傾向があるわけですから、10代の子ども達にとっては手放せないアイテムとなっているのでしょう。



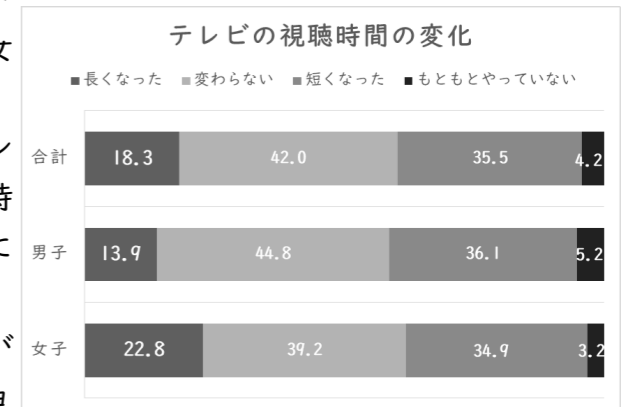
では、スマホで何をしているのか…。

10代の子ども達のネット動画（YouTube、Netflix、Amazonプライム・ビデオなど）の視聴時間について質問すると、男子で35.1%、女子で55.6%が長くなったと回答しています。スマホ利用時間が長くなった一因は動画視聴によるものと考えられそうです。当然、ネット動画を見る時間が増えたということは、一日の生活の中で何かの時間が減っているわけですが、それがテレビ視聴時間のようなようです。男子で36.1%、女子で34.9%が「短くなった」と答えています。



子ども達を対象とした動画やSNSのコンテンツが充実してきたことに加え、見たいと思う時に見られるというのもタイプ重視の子ども達には合っているのかも知れません。

また、スマホで利用できる便利なサービスが増えたことも考えられます。料理の注文やショ



ッピング等々、日々新たなサービスやコンテンツが登場しています。それらの利用は、隙間時間が有効活用でき、ますます生活が便利になり充実していく…ということでもスマホの時間が長くなるということでしょう。

ただ、タイパ・コスパ重視で作った時間に、ゆったりとした充実した日々を過ごせているのかという…。

## 池袋暴走事故

2019年4月に池袋で母子2名が死亡し、9名が重軽傷者を負った交通事故がありました。運転していたのは飯塚幸三氏（90）。高齢ドライバーの免許返納が話題になっていた時期であったことや、警察の飯塚氏への対応から「上級国民」という言葉も広まった事故でもあり、記憶している方も多いのではないのでしょうか。その後、飯塚氏は禁錮5年の判決を受け収監され、昨年10月26日に刑務所内で老衰のため死亡したことが報じられています。



この事故で死亡したのは松永拓也さん（35）の妻 真菜さん（31）と長女 莉子さん（3）。事故を巡る裁判で松永拓也さんが取材を受け、その様子がテレビ等で報道される機会がありました。しかし、それを目にした第三者からの誹謗中傷に苦しめられるようになります。



「駄々こねるな。事故で妻と娘を亡くしただけだろ。死ね、消えろ、ぶっ殺すぞ」「金や反響目当てで闘っている」「天国の松永莉子ちゃんと松永真菜さんが喜ぶとでも??」といったSNSでの罵詈雑言があり、2022年3月11日に被害届を受けた警察は、4月28日愛知県に住む男性（22）を書類送検しています。書類送検された男性は、不満のはけ口として、こうした誹謗中傷を投稿したということですが…。自分のストレスを、指先ひとつで見ず知らずの人に言葉の暴力としてぶつけることができってしまう時代であることを考えなければなりません。

そして、11月28日にはこの『言葉の暴力』『デジタル暴力』を振るったとして、警視庁少年事件課が横浜市の中学3年生の少女（14）を脅迫と威力業務妨害の容疑で書類送検したというニュースがありました。

この少女は悩みを抱えていて、「脅迫メールを送信すれば警察が動き、相談に乗ってくれると考えた」と説明したそうです。気軽に話せる友達や家族・先生がいれば、簡単に相談できたのでしょうか。残念ながらそれができなかった。人間関係づくりが苦手だったのでしょうか。相談することを躊躇うような環境だったのでしょうか。警察に自分の話を聞いてもらうために、犯罪を犯してしまうとは…。誹謗中傷のメールを送信したという犯罪は許せることではありませんが、この子を取り巻く環境にも問題は多いように感じられます。



コロナ禍により人と人との繋がりが希薄にならざるをえない時期がありました。大切な成長期の一時期に学ぶべきこと、直接人と接する体験やコミュニケーションが取れなかったことで、人間関係づくりに消極的になってしまったのでしょうか。

身近にいる子ども達はどうですか。うまく仲間づくりができていますか？友達と、あるいは家族で、気安くいろいろな話ができる環境ですか？

子どもが一人で悩み事を抱え込んでしまった場合、大人が予想もしない行動をとってしまうことがあります。以前より犯罪者になってしまう可能性が大きくなってしまっている今、是非、家族で一度このことについて話し合ってみてください。



## 青少年への愛のひと声活動……補導日誌から

○1月13日（月）19:00～

量販店のゲームセンターの方から「問題行動も特になく、平穏な状況」と言われました。日々、平穏な環境にあることは嬉しいことです。しかし、少年が関わる諸事件を見る度に、社会の歪みや個々の状況等の暗い部分が積み重なっていたことが明らかになります。そうしたことを知る努力も必要なのだと感じます。青少年活動に関わったおかげで、子ども達の姿だけでなく、家庭や地域社会の在り方にも目を向けるようになったことは良かったと思います。社会構成員の一員として、人や地域と関わることの大切さとともに充実感を感じる毎日です。補導活動の意味を思いを真摯に語り合える場や人がもっとあったらいいなと思います。



○1月15日（水）19:00～

敦賀駅で大声で叫んだり、いきなり転がり出したりする人を見かけたが、周りに子どもはおらず、危害を加えられることはなかった。オルパークの2階では、私服の学生が勉強していたが、その人が2階まで来ることはなかった。北陸新幹線敦賀開業で敦賀に来訪者が増えるということは、これまでなかった事件や犯罪に巻き込まれる可能性もあるということ。子ども達を守るという観点から私たち大人は十分に気をつけなければならないと改めて考えさせられた。



○1月19日（日）14:55～

観光客のために市内にレンタサイクルがあり、スマホ一つで自由に利用できるのも、バス利用より手軽に利用できる便利なものだと思います。市内の学生さん達には、徐々にヘルメット着用が普及しているように思われるのですが、観光客が利用するレンタサイクルでのヘルメット着用はあまり見かけません。交差点でも速いスピードで入っていますし、横断歩道を左右確認せずに渡っているケースも見かけます。ヘルメットの義務づけにはなってないように感じています。



○2月2日（日）14:55～

駅周辺のオルパークやちえなみきには多くの中高生が学習で利用しています。他にも萬象1階の生涯学習スペースは図書館よりも自由な雰囲気、気軽に利用できるスペースで、学生や一般の方々が机に向かっていて、アルプラザ6階の飲食スペースでも勉強している子ども達がいまいます。今後、家以外で学習や調べ物・読書などが気軽に利用できるスペースがもっと多くあってほしいものだと思います。

